

第19回内痔核治療法研究会総会開催と演題募集のご案内

第19回内痔核治療法研究会総会
当番世話人 小原 誠

昨年は、ALTA療法20年の節目となる総会が開催され、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の方針について大きな議論がなされました。ALTA療法は痔核治療法の一つとして円熟の段階に差しかかりつつあると感じております。

そこで今回の総会では、テーマを『百尺竿頭』といたしました。

「百尺竿頭」とは、学問や技術が高みに到達した境地を指しつつ、そこで満足することなく、さらに新たな世界へ踏み出すという意味を含む言葉です。完成度を高め続けるLE法が毎年「LEを極める」を掲げ熱い議論が交わされるように、ALTA療法においても柔軟な変革と前進が求められています。日々、目の前の患者さんと向き合い治療にあたっておられる先生方にこそ、

- 現在のALTA療法の位置づけ
- その有用性（低侵襲性、長期成績）
- 取り組んでいる工夫
- 技術を極めるための実践
- 有害事象の経験と対策

について、ぜひ忌憚なく語り尽くしていただきたいと存じます。

総会では、以下5つのセッションを設け、より具体的かつ深い議論を展開していただく予定です。

- Session1 肛門科ハイボリュームセンターにおけるALTA療法の位置付け
- Session2 無床診療所におけるALTA療法の位置付け
- Session3 有害事象の経験とその対策
- Session4 ALTA単独療法を極める（適応基準・根治性・SDM・有用性など）
- Session5 ALTA併用療法を極める（適応基準・手術手技・長期成績・侵襲性・汎用性など）

本総会は、2026年7月12日（日）、今年もハイブリッド形式にて開催いたします。

会員の皆様には、奮っての演題応募ならびにご参加を心よりお願い申し上げます。

日 時：2026年7月12日（日）9：30～15：00

会 場：ソラシティ カンファレンスセンター（東京都千代田区神田駿河台）

※当日はWEBライブ配信も行い、後日オンデマンド配信いたします。

（演題募集要項もご覧ください。）

【第19回 内痔核治療法研究会総会 演題募集要項】

《 総会のテーマ 》 『 百尺竿頭 』

- 現在の ALTA 療法の位置づけ
- その有用性(低侵襲性、長期成績)
- 取り組んでいる工夫
- 技術を極めるための実践
- 有害事象の経験と対策

《 応募資格 》

応募および発表者は内痔核治療法研究会の会員のみとします。

《 演題応募方法 》

E メールにて第19回内痔核治療法研究会総会事務局宛て、「演題抄録」をご送付ください。

《 演題抄録 》

演題名、所属、演者（共同演者含む）、および抄録本文（800字程度）を記載ください。

使用ソフトは Microsoft Word とし、文書名は「(演者名).doc」としてください。

《 演題抄録提出期間 》

2026年3月2日（月）～4月6日（月）

《 演題抄録送付先 》

第19回内痔核治療法研究会総会事務局

E メール： alta.zione@j-dolph.co.jp （全て半角小文字）

《 ご応募に際して 》

1. 演題（抄録）受付後、確認メールを差し上げます。
連絡がない場合は事務局までお問い合わせください。
2. 抄録集は6月中旬に発行（発送）予定です。
E メールで応募いただいた内容が最終の抄録集原稿になります。
3. 抄録査読による演題の採否は、当番世話人へ一任しています。
4. 採否等は4月下旬頃に連絡させていただきます。

《 第19回内痔核治療法研究会総会事務局 》

ジェイドルフ製薬株式会社 営業本部内

570-0081 大阪府守口市日吉町2-5-15

TEL 06-7507-2192 FAX 06-7507-2528

E メール： alta.zione@j-dolph.co.jp

担当：深町、塚谷、小野